

# 第15回ロータリー 日本青少年交換研究会報告

青少年交換委員会委員長

岡田 俊作 (大阪本町RC)

5月15日(土)・16日(日)の2日間に亘り、当第2660地区がホストとなり、掲題研究会・大阪会議が西区土佐堀の大阪YMCA国際文化センターに於いて開催されました。ガバナー会青少年交換委員会委員長関場慶博様の点鐘に始まり、ガバナー会議長久邇邦昭様・大谷透Gのご挨拶に続き、RI理事黒田正宏様の基調講演で幕を開けました。

本年4月のRI規定審議会で、「新世代奉仕」(New Generation Service)が、四大奉仕に加え第五の奉仕になることが採択されました。今後益々青少年プログラム(インターアクト・ローターアクト・ライラ・青少年交換)の活動が重視され、この四部門が互いの立場を尊重しつつも有機的に相互協力することが求められます。

今回の研究会では、従来の青少年交換プログラムの枠を超えて全国34地区から240名の新世代奉仕部

門関係のロータリアンが参加し、各部門にかんするパネルディスカッションや質疑応答を通じて部門間の理解を深め、今後の方向性を示す大変有意義な研究会になりました。

また、部門を超えた研究会ということもあり、ジョン・ケニーRI会長からもメッセージを戴き、RI本部から特別に4部門の統括マネージャーであるMr. Adam Doty (アダム・ドーティー)並びに青少年交換部門責任者であるMs. Kate Hoepfel (ケイト・ホッペル)のお二人が来日し2日間の研究会全てに参加され日本での活動内容をご理解願えたと思います。

初日の夕方に開催した懇親会では、来日したRI本部スタッフを交え、ガバナー会各委員長やRI青少年奉仕支援グループのコーディネーターの皆様と参加ロータリアンの皆様との交流と親睦が図れ、今後進むべき方向へ歩み出したと思います。

